

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 八千代工業株式会社

コード番号 7298 URL <http://www.yachiyo-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 白石 基厚

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 北村 哲也

TEL 04-2955-1211

四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	243,959	—	6,089	—	5,761	—	855	—
20年3月期第3四半期	243,511	△8.4	7,192	△14.3	6,613	△16.9	6,877	63.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	35.62	—
20年3月期第3四半期	286.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	138,682	46,523	30.3	1,750.39
20年3月期	126,844	50,397	36.3	1,916.98

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 42,033百万円 20年3月期 46,033百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
21年3月期	—	15.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	306,000	△4.3	6,100	△30.7	5,630	△30.7	500	△93.2	20.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

ゴウシ インディア オートパーツ プライベート
 リミテッド
 新規 2社(社名 ヤチヨ インディア マニュファクチャリング) 除外 1社(社名
 プライベート リミテッド)

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご参照ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご参照ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 24,042,700株 20年3月期 24,042,700株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 28,934株 20年3月期 28,901株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 24,013,753株 20年3月期第3四半期 24,013,922株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おください。

なお、上記予想に関する事項は、3ページ「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の経済状況は、世界各地で原油価格や原材料価格が高値から大きく下落しているなか、国内においては、個人消費は弱含み、設備投資が減少するなど、景気は悪化しております。一方、海外においては、米国の景気は後退しており、金融危機の影響により一層の下振れが懸念されております。アジア諸国の景気は、中国を中心に拡大が続いているものの、そのペースは減速しております。また、欧州主要国の景気は後退しております。

このような情勢のもと、当社グループは、お客様のニーズに迅速かつ的確に応えるため、技術開発及び生産体質の強化など企業体質の強化に努めてまいりました。技術開発面では、引き続き積極的な研究開発活動を展開し、生産面では、国内外の生産体質改革をさらに推進するとともに、各地域のニーズにあった増量対応を図ってまいりました。品質面では引き続き桁違い品質の実現に向けて、取り組んでまいりました。また、急激な経済環境の変化に対応するため、自動車組立分野における新工場稼働時期の延期など、投資の見直しを図ってまいりました。

当第3四半期連結会計期間の全世界の自動車市場での需要は減少しておりますが、主な海外連結子会社の第3四半期末は9月末日のため、当第3四半期の海外連結子会社の売上高及び経常利益に与える影響は軽微であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は、主に自動車組立分野における受注台数の増加により917億9千8百万円（前年同期比16.1%増）となりました。

利益につきましては、国内における自動車組立分野の増収に伴う利益の増加、アジアでの増収に伴う利益の増加及び原価改善効果などにより、減価償却費の増加及び研究開発費の増加などはあったものの、経常利益は25億9千4百万円（前年同期比52.4%増）となりました。

しかしながら、減損処理による持分法適用関連会社の投資有価証券評価損7千万円及び持分法適用関連会社への貸付金に対する貸倒引当金繰入額23億9千8百万円を特別損失に計上したことなどにより、四半期純損失は11億1千万円となり、親会社株式の売却益57億8千9百万円を特別利益に計上した前年同期の四半期純利益44億6千4百万円に比べ、124.9%の減少となりました。

分野別売上高の状況

（自動車部品分野）

自動車部品分野では、国内においては、足回り部品等の受注減や機種構成差などにより、売上高は253億6千3百万円（前年同期比10.0%減）となりました。北米においては、連結子会社であるヤチヨ オブ オンタリオ マニュファクチュアリング インコーポレーテッド（カナダ）及びエー ワイ マニュファクチュアリング リミテッド（米国）における受注増などにより、為替換算上の減少はあったものの、売上高は118億2千7百万円（前年同期比1.3%増）となりました。アジアにおいては、連結子会社である八千代工業（中山）有限公司（中国）、八千代工業（武漢）有限公司（中国）、サイアム ゴウシ マニュファクチュアリング カンパニー リミテッド（タイ）及びゴウシ タンロン オートパーツ カンパニー リミテッド（ベトナム）における受注増などにより、為替換算上の減少はあったものの、売上高は130億1千1百万円（前年同期比40.3%増）となりました。

この結果、自動車部品分野の売上高合計は502億2百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

（自動車組立分野）

自動車組立分野では、平成20年11月発表の新型「ライフ」の受注台数が増加したことなどにより、売上高は415億4千2百万円（前年同期比39.0%増）となりました。

（その他の分野）

その他の分野の売上高は5千3百万円（前年同期比37.7%減）となりました。

なお、平成21年3月期第1四半期及び第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成21年3月期第1四半期決算短信（平成20年7月25日開示）及び第2四半期決算短信（平成20年10月27日開示）をご参照ください。また、前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、1,386億8千2百万円と、前年度に比べ118億3千7百万円の増加となりました。

増加した要因は、たな卸資産の減少があったものの、受取手形及び売掛金や有形固定資産が増加したことなどによるものであります。

負債合計は、921億5千9百万円と、前年度に比べ157億1千1百万円の増加となりました。

増加した要因は、未払法人税等や賞与引当金の減少があったものの、支払手形及び買掛金や短期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、465億2千3百万円と、前年度に比べ38億7千4百万円の減少となりました。
減少した要因は、為替換算レート差による為替換算調整勘定が減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、賞与の支払いによる賞与引当金の減少額14億1千7百万円、有形固定資産の取得84億7千6百万円、法人税等の支払額22億5千万円の資金需要などがありましたが、減価償却費33億6千3百万円、貸倒引当金の増加額23億9千8百万円、短期借入金の純増額58億2千4百万円などにより、当第3四半期連結会計期間末の資金残高は60億1千5百万円となり、第2四半期連結会計期間末に比べ13億9千万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、賞与の支払いによる賞与引当金の減少額14億1千7百万円、法人税等の支払額22億5千万円などがありましたが、減価償却費33億6千3百万円、貸倒引当金の増加額23億9千8百万円などにより、41億2千9百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより、75億8千7百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、長期借入金の純減少額2億4千4百万円などがありましたが、短期借入金の純増加額58億2千4百万円などにより、51億6千5百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済状況の見通しにつきましては、世界的な金融危機の深刻化や世界景気の一層の下振れ懸念などにより、景気の状態がさらに厳しいものとなると思われまます。

当社グループを取り巻く自動車業界におきましても、全世界の市場が急速に縮小するなか、コスト、品質面での生き残りをかけたグローバルベースでの競争が加速し、一層厳しさを増すものと予想されます。

このような状況の中で、現時点における通期の連結業績の見通しにつきましては、次のとおり修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当期の配当予想につきましては、期末配当金を1株につき15円とし、中間配当金15円と合わせて年間配当金を30円とする配当予想を修正しておりません。

<連結業績の見通し>

売上高	306,000百万円	（前年度比 4.3%減）
営業利益	6,100百万円	（前年度比30.7%減）
経常利益	5,630百万円	（前年度比30.7%減）
当期純利益	500百万円	（前年度比93.2%減）

為替レートにつきましては、第4四半期は1米ドル85円、通期平均で100円を予想しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

ゴウシ インディア オートパーツ プライベート リミテッドは、当連結会計年度中に操業を開始し、重要性が増したため、また、ヤチヨ インディア マニュファクチュアリング プライベート リミテッドは、平成20年4月に設立されたため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

なお、ヤチヨ インディア マニュファクチュアリング プライベート リミテッドは、平成20年9月に増資を行った結果、当社の特定子会社となっております。

また、特定子会社のほかに、株式会社ワイジーテックを新たに設立したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

当社及び国内連結子会社は、通常の販売目的で保有するたな卸資産について、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ106,232千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

③ リース取引に関する会計基準の適用

当社及び国内連結子会社は、所有権移転外ファイナンス・リース取引について、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

ただし、平成20年3月31日以前に取引を開始した所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

④ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,061,554	3,785,334
受取手形及び売掛金	40,867,689	33,083,916
製品	914,913	1,044,894
原材料	4,536,175	3,951,586
仕掛品	1,464,120	3,318,628
その他	5,478,511	6,730,814
流動資産合計	59,322,964	51,915,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,605,176	39,720,279
機械装置及び運搬具	84,796,279	80,451,471
工具、器具及び備品	41,371,689	38,506,400
土地	15,223,080	13,251,067
建設仮勘定	5,871,134	9,376,811
減価償却累計額	△114,981,802	△114,441,393
有形固定資産合計	72,885,557	66,864,637
無形固定資産		
のれん	1,506,554	1,721,776
その他	386,100	353,062
無形固定資産合計	1,892,655	2,074,839
投資その他の資産	4,581,145	5,990,337
固定資産合計	79,359,358	74,929,813
資産合計	138,682,322	126,844,989

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成20年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,952,077	30,379,689
短期借入金	27,118,383	13,087,850
1年内返済予定の長期借入金	4,576,817	5,664,822
賞与引当金	1,045,426	2,449,273
その他	10,728,826	14,926,289
流動負債合計	80,421,530	66,507,925
固定負債		
長期借入金	6,750,977	5,422,270
退職給付引当金	4,001,576	3,565,455
その他	985,048	951,583
固定負債合計	11,737,601	9,939,309
負債合計	92,159,132	76,447,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,685,600	3,685,600
資本剰余金	3,504,076	3,504,079
利益剰余金	36,430,495	36,296,238
自己株式	△24,648	△24,604
株主資本合計	43,595,523	43,461,313
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	118,893	279,475
為替換算調整勘定	△1,680,936	2,293,108
評価・換算差額等合計	△1,562,043	2,572,583
少数株主持分	4,489,709	4,363,856
純資産合計	46,523,190	50,397,753
負債純資産合計	138,682,322	126,844,989

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	243,959,823
売上原価	228,682,842
売上総利益	15,276,980
販売費及び一般管理費	9,187,955
営業利益	6,089,024
営業外収益	
受取利息	106,676
持分法による投資利益	108,513
その他	132,889
営業外収益合計	348,079
営業外費用	
支払利息	510,926
為替差損	132,269
その他	32,736
営業外費用合計	675,932
経常利益	5,761,171
特別利益	
固定資産売却益	15,838
特別利益合計	15,838
特別損失	
貸倒引当金繰入額	2,398,477
投資有価証券評価損	70,027
その他	395,618
特別損失合計	2,864,123
税金等調整前四半期純利益	2,912,887
法人税等	1,580,865
少数株主利益	476,573
四半期純利益	855,448

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	91,798,631
売上原価	86,156,757
売上総利益	5,641,873
販売費及び一般管理費	3,051,602
営業利益	2,590,271
営業外収益	
受取利息	43,700
為替差益	109,293
その他	40,225
営業外収益合計	193,219
営業外費用	
支払利息	178,707
その他	10,068
営業外費用合計	188,776
経常利益	2,594,714
特別利益	
固定資産売却益	6,491
特別利益合計	6,491
特別損失	
貸倒引当金繰入額	2,398,352
投資有価証券評価損	70,027
その他	140,954
特別損失合計	2,609,334
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,128
法人税等	879,420
少数株主利益	223,169
四半期純損失(△)	△1,110,718

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3 四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,912,887
減価償却費	8,588,170
のれん償却額	215,222
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,403,846
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,377,227
受取利息及び受取配当金	△118,313
支払利息	510,926
持分法による投資損益 (△は益)	△108,513
投資有価証券評価損益 (△は益)	70,027
有形固定資産売却損益 (△は益)	△7,176
有形固定資産除却損	285,274
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,942,604
たな卸資産の増減額 (△は増加)	713,782
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,144,465
その他	1,998,124
小計	16,235,655
利息及び配当金の受取額	122,919
利息の支払額	△507,724
法人税等の支払額	△5,946,192
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,904,657
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△21,660,858
有形固定資産の売却による収入	79,244
貸付けによる支出	△1,716,590
貸付金の回収による収入	2,603,630
その他	△2,997
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,697,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	14,193,973
長期借入れによる収入	4,600,290
長期借入金の返済による支出	△4,218,190
配当金の支払額	△720,413
少数株主への配当金の支払額	△23,787
その他	△130,991
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,700,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	△659,560
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,248,406
現金及び現金同等物の期首残高	3,734,739
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	32,568
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,015,714

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「自動車及びその部品の製造及び販売事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	その他の 地域(千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	66,947,376	11,827,140	13,024,114	—	91,798,631	—	91,798,631
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,688,755	16,542	50,139	—	1,755,436	(1,755,436)	—
計	68,636,132	11,843,682	13,074,253	—	93,554,067	(1,755,436)	91,798,631
営業利益 (又は営業損失)	637,809	334,352	1,542,300	△398	2,514,064	76,207	2,590,271

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	その他の 地域(千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	173,998,888	35,998,975	33,961,959	—	243,959,823	—	243,959,823
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,772,555	143,129	357,757	—	5,273,443	(5,273,443)	—
計	178,771,443	36,142,105	34,319,716	—	249,233,266	(5,273,443)	243,959,823
営業利益 (又は営業損失)	995,714	1,638,233	3,505,029	△3,184	6,135,792	(46,767)	6,089,024

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域……北米：カナダ、米国

アジア：タイ、ベトナム、中国、インド

その他の地域：英国

3 会計方針の変更

「定性的情報・財務諸表等」4(3)②に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、通常の販売目的で保有するたな卸資産について、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、従来と同じ方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の「日本」の営業利益は106,232千円減少しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	11,827,382	11,906,948	1,125,571	24,859,902
II 連結売上高(千円)	—	—	—	91,798,631
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.9	13.0	1.2	27.1

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	35,999,401	32,529,764	1,473,632	70,002,798
II 連結売上高(千円)	—	—	—	243,959,823
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.8	13.3	0.6	28.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域……………北米：カナダ、米国

アジア：タイ、ベトナム、中国、インド他

その他の地域：英国他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	243,511,460
II 売上原価	227,354,892
売上総利益	16,156,567
III 販売費及び一般管理費	8,963,706
営業利益	7,192,861
IV 営業外収益	475,365
V 営業外費用	1,055,165
経常利益	6,613,060
VI 特別利益	5,915,013
VII 特別損失	192,660
税金等調整前 四半期純利益	12,335,413
税金費用	4,697,604
少数株主利益	(減算)760,609
四半期純利益	6,877,199